

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
思・判・表	：社会的な思考・判断・表現
技能	：資料活用の技能
知・理	：社会的事象についての知識・理解

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率(%)	通過率(%)	
地理(1)ア	1	(1) 中心からの距離と方位が正しい地図上において、赤道の位置を指摘することができる。		技能 知・理	50.0	78.7	
地理(1)ア		(2) X Y	中心からの距離と方位が正しい地図において、インド洋の位置と名称を指摘することができる。		知・理	70.0	63.8
地理(1)ア			中心からの距離と方位が正しい地図において、オーストラリア大陸の位置と名称を指摘することができる。		知・理	50.0	49.3
地理(1)ア		(3)	中心からの距離と方位が正しい地図から読み取れることを指摘することができる。	◇	思・判・表 技能	55.0	68.3
地理(2)ア		(4)	日本とブラジリアの時差を計算し、題意に合った文章で表現することができる。	◇	思・判・表 技能	40.0	47.4
地理(1)イ	(5)	地中海性気候の特色を資料から読み取り、アテネの雨温図を選択することができる。	◇	思・判・表 技能	60.0	85.5	
地理(2)ア	2	(1) 資料から読み取った日本の特徴と同じ特徴をもつ国を指摘することができる。	◇	思・判・表 技能	50.0	58.0	
地理(2)ア		(2)	中部地方をさらに区分した地方を指摘することができる。		知・理	55.0	60.0
地理(1)エ	3	(1) A E	4種類の資料から選択し、読み取ることを通して、選択肢の正誤を判断することができる。	◇	思・判・表 技能	50.0	67.6
地理(1)エ			4種類の資料から選択し、読み取ることを通して、選択肢の正誤を判断することができる。	◇	思・判・表 技能	50.0	61.2
地理(1)エ		(2)	資料から読み取った輸出量を、主題図に適切な方法で表現することができる。	◇	思・判・表 技能	50.0	48.6
地理(1)ウ	4	(1)	2つの資料を読み取り、アフリカ州を指摘することができる。		知・理	70.0	74.2
地理(1)ウ		(2)	複数の資料を読み取り、EUを指摘することができる。	◇	思・判・表	60.0	45.7
地理(1)ウ		(3)	複数の資料を読み取り、インドの宗教を指摘することができる。	◇	思・判・表 技能	60.0	57.6
地理(1)ウ		(4) ① ② ③	北アメリカ大陸の2つの主題図を読み取り、綿花地域の範囲について指摘することができる。	◇	思・判・表 知・理	55.0	44.9
地理(1)ウ			北アメリカ大陸の2つの主題図を読み取り、綿花地域の範囲について指摘することができる。	◇	思・判・表 知・理	55.0	53.2
地理(1)ウ			北アメリカ大陸の2つの主題図を読み取り、綿花地域の気候条件について指摘することができる。	◇	思・判・表 知・理	50.0	29.9
地理(1)ウ		(5)	南アメリカ大陸の山脈の名称を土地利用の図から指摘することができる。		知・理	70.0	46.5
地理(1)ウ	(6)	2つの資料からアジアと結び付きを強めていることを読み取り、オーストラリアを指摘することができる。	◇	思・判・表 知・理	55.0	27.4	
歴史(3)ア	5	(1)	後醍醐天皇の建武の新政が引き起こした社会の混乱を示す資料を指摘することができる。		知・理	60.0	51.6
歴史(2)イ		(2)	聖徳太子が目指した政治を指摘することができる。		思・判・表 知・理	70.0	63.1
歴史(2)ウ		(3)	文学作品が平安時代の文化を代表するものであることを読み取り、平安時代の仏教の動きを指摘することができる。	◇	思・判・表 知・理	55.0	46.6
歴史(1)ア・ウ 歴史(3)ア		(4)	中世の歴史上の人物を選択し、活躍した時期の古い順に並べることができる。	◇	思・判・表	50.0	21.0
歴史(2)ア	6	(1)	岩宿遺跡の位置と名称を理解している。		知・理	60.0	41.0
歴史(2)ア		(2)	資料の内容を読み取り、5世紀ごろの東アジアを表す地図を指摘することができる。	◇	思・判・表	40.0	46.5
歴史(2)イ	7	(1)	古代～中世に即位した天皇を時代順に理解している。		知・理	60.0	43.4
歴史(2)イ		(2)	大化の改新における土地と人々の支配体制の改革について、公地公民を指摘することができる。		知・理	60.0	29.1
歴史(2)イ		(3)	年表と資料から、古代の3つの都の名称を指摘することができる。	◇	思・判・表 知・理	50.0	30.4
歴史(2)イ		(4)	平安時代の政治の移り変わりを指摘することができる。	◇	思・判・表 知・理	45.0	23.4
歴史(3)ア	8	(1)	守護の役割を指摘することができる。		知・理	60.0	35.0
歴史(3)ア		(2)	執権政治の時期の出来事を指摘することができる。		知・理	60.0	33.2
歴史(1)イ 歴史(3)イ	9	(1)	資料から、十三湊の位置を地図上で指摘することができる。		技能 知・理	55.0	35.3
歴史(3)イ		(2)	当時の農民の自治組織である惣を指摘することができる。		知・理	50.0	68.2
歴史(3)イ		(3)	室町時代の作品や文化の特色を指摘することができる。		思・判・表 知・理	55.0	27.5

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容		設定 通過率	東青管内			西北管内				
					青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	(1)		赤道の位置の理解	50.0	78.7	78.2	86.5	81.1	75.8	90.0	81.5
	(2)	X	三大洋の位置と名称の理解	70.0	65.6	65.4	67.8	56.6	52.0	56.2	61.7
		Y	六大陸の位置と名称の理解	50.0	50.0	50.1	48.5	39.5	38.6	37.9	41.6
	(3)		正距方位図法の読み取り	55.0	68.3	68.4	66.7	70.0	69.8	75.5	67.1
	(4)		日本とブラジリアの時差の理解	40.0	51.0	51.4	44.4	55.9	43.5	70.3	60.9
(5)		地中海性気候の特色の理解	60.0	85.9	86.2	81.9	84.7	83.0	87.6	84.8	
2	(1)		日本の国土の特徴の理解	50.0	57.1	56.6	63.7	56.7	55.2	58.3	57.4
	(2)		中部地方の地域区分の理解	55.0	60.9	60.7	64.3	62.0	61.0	71.4	57.4
3	(1)	ア	複数資料の読み取り	50.0	66.7	66.7	66.1	70.1	66.0	71.0	74.1
		エ	複数資料の読み取り	50.0	60.4	59.9	68.4	59.8	55.4	65.2	61.5
	(2)		資料から読み取ったことの表現	50.0	51.4	52.4	37.4	52.6	45.0	52.8	60.9
4	(1)		アフリカ州の指摘	70.0	75.8	76.2	70.2	75.1	73.2	75.9	76.7
	(2)		EUの指摘	60.0	47.3	47.8	39.8	41.4	38.9	37.9	46.1
	(3)		ヒンドゥー教の理解	60.0	58.7	58.5	60.8	51.3	50.3	43.1	57.4
	(4)	①	複数資料の読み取り	55.0	48.1	48.1	49.1	43.0	45.4	34.1	45.7
		②	複数資料の読み取り	55.0	54.2	54.7	47.4	52.2	54.3	52.1	50.0
		③	複数資料の読み取り	50.0	32.0	32.6	24.0	27.0	28.2	21.7	28.8
	(5)		アンデス山脈の理解	70.0	53.5	53.9	47.4	43.0	39.7	50.3	42.2
(6)		オーストラリアの指摘	55.0	30.0	30.2	25.7	23.4	22.5	24.1	23.9	
5	(1)		建武の新政の理解	60.0	52.9	53.4	46.2	45.1	48.6	40.0	44.4
	(2)		聖徳太子の目指した政治の理解	70.0	67.2	67.1	69.0	58.8	57.8	64.8	56.2
	(3)		平安時代の仏教の理解	55.0	48.9	48.8	49.7	40.9	44.2	37.9	39.3
	(4)		中世の政治の流れの理解	50.0	24.2	24.2	24.6	17.9	15.9	22.1	17.5
6	(1)		岩宿遺跡の理解	60.0	42.2	42.3	40.4	40.0	39.5	45.9	37.0
	(2)		5世紀の東アジアの理解	40.0	47.3	47.2	48.0	44.4	45.4	43.1	44.2
7	(1)		古代の政治の流れの理解	60.0	43.7	43.6	45.0	42.5	38.6	45.9	44.7
	(2)		公地公民の理解	60.0	40.3	40.9	32.2	19.1	16.3	26.6	17.7
	(3)		古代の都の名称の理解	50.0	31.5	31.4	32.7	25.9	26.3	28.3	24.1
	(4)		平安時代の政治の流れの理解	45.0	26.0	25.9	26.9	21.9	22.1	21.0	22.2
8	(1)		守護の役割の指摘	60.0	41.0	41.6	33.3	29.4	26.8	29.0	32.5
	(2)		鎌倉時代の出来事の理解	60.0	38.2	38.5	34.5	30.7	31.2	30.3	30.2
9	(1)		十三湊の位置の指摘	55.0	35.6	35.4	38.0	38.7	37.1	36.9	41.6
	(2)		中世の民衆の生活の理解	50.0	71.7	71.3	76.6	70.3	66.7	70.7	73.9
	(3)		室町時代の文化の特色の理解	55.0	32.5	32.8	28.7	22.3	23.1	19.3	23.3
教科全体				55.4	51.1	51.2	49.6	46.9	45.2	48.2	47.9

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
74.6	75.0	67.3	79.6	76.4	79.9	86.3	73.6	78.3	84.6	86.6	77.4	78.6	78.3	79.7	78.7
58.9	59.6	56.0	56.0	62.2	66.6	76.7	64.0	61.1	65.4	69.2	52.1	67.2	67.2	66.9	63.8
47.7	48.8	41.5	43.7	54.1	48.2	50.1	47.0	47.4	44.4	44.2	45.2	56.5	57.6	52.2	49.3
64.9	64.2	65.1	66.5	66.8	69.2	71.1	66.6	69.0	68.4	71.3	58.2	69.6	70.2	67.1	68.3
39.5	38.5	39.9	45.4	37.5	48.1	59.4	34.2	46.3	50.2	57.9	22.6	45.4	45.6	44.5	47.4
83.6	83.5	77.7	84.2	90.7	86.5	90.7	83.6	85.0	87.3	89.3	80.1	85.9	85.9	85.8	85.5
54.5	55.0	49.1	55.6	56.8	57.7	60.5	55.9	56.6	58.5	60.3	52.1	62.2	62.4	61.3	58.0
60.8	61.0	53.1	58.1	72.2	59.7	65.7	57.2	56.6	50.8	53.3	41.8	59.8	59.2	62.0	60.0
65.3	67.1	58.8	62.0	68.0	69.0	74.4	68.4	65.7	68.1	69.6	63.0	68.0	67.6	69.5	67.6
59.5	57.1	55.0	63.7	73.0	63.5	65.9	62.4	62.4	65.1	67.8	55.5	61.2	62.3	56.9	61.2
43.6	46.7	31.8	46.5	39.0	48.4	61.8	39.4	43.3	48.3	51.7	36.3	48.0	47.5	49.9	48.6
69.6	69.5	68.6	68.3	73.0	75.6	85.5	72.1	70.4	68.4	71.3	58.2	76.3	76.9	73.7	74.2
42.5	43.1	38.1	44.0	42.9	46.0	54.0	41.3	42.6	52.4	56.6	37.7	46.9	46.8	47.5	45.7
52.4	53.3	49.7	57.0	46.3	60.9	72.4	60.6	53.4	68.4	74.0	48.6	58.7	59.1	56.7	57.6
40.8	41.3	39.9	40.1	39.8	45.1	55.8	44.9	38.0	44.7	48.1	32.9	45.9	45.9	45.9	44.9
50.5	50.1	49.1	53.2	51.4	54.2	59.7	49.1	52.6	52.7	55.6	42.5	54.2	53.1	58.7	53.2
28.3	29.2	22.3	29.6	29.7	28.2	35.6	28.5	23.3	27.2	28.9	21.2	32.2	32.3	31.9	29.9
44.5	48.6	37.7	39.1	37.8	45.1	51.9	38.4	43.4	34.1	36.4	26.0	47.1	49.1	39.2	46.5
21.5	21.7	17.9	18.3	28.6	24.3	25.9	25.3	22.7	28.1	30.4	19.9	33.7	35.0	28.7	27.4
49.3	49.9	45.6	45.8	54.4	52.1	54.6	50.7	51.0	52.1	53.7	46.6	55.0	56.4	49.2	51.6
56.9	58.1	55.0	56.7	53.3	66.2	73.6	63.2	62.5	64.5	66.9	56.2	63.7	64.0	62.5	63.1
42.0	44.8	36.5	40.1	35.9	48.6	53.2	49.1	45.4	50.3	53.5	39.0	48.2	49.2	44.3	46.6
17.2	18.4	11.9	17.3	17.8	20.9	25.4	20.4	17.9	21.8	24.4	12.3	22.3	23.1	19.3	21.0
35.9	36.5	32.7	33.8	39.4	41.3	42.9	41.3	40.3	38.7	42.2	26.0	44.6	44.7	44.3	41.0
45.0	43.5	44.0	51.4	46.7	48.7	49.4	50.9	47.3	43.7	43.8	43.2	47.2	47.2	47.3	46.5
41.0	41.9	39.9	38.0	40.9	44.1	44.5	46.5	42.7	47.0	47.3	45.9	44.3	44.4	44.3	43.4
22.0	22.0	17.9	17.3	32.0	23.1	25.1	27.9	19.8	39.9	46.1	17.8	30.1	31.0	26.8	29.1
27.3	27.6	26.4	27.8	26.6	29.1	38.0	25.3	24.8	36.7	41.7	19.2	33.0	32.9	33.6	30.4
20.9	22.1	15.4	19.4	23.2	21.9	22.3	20.4	22.3	27.6	28.5	24.7	23.7	24.3	21.7	23.4
30.5	31.7	25.5	28.9	32.0	33.1	35.4	30.8	32.6	46.1	51.6	26.7	34.0	34.3	32.7	35.0
30.8	32.3	28.3	26.8	30.5	29.7	32.0	28.2	28.9	34.6	39.1	18.5	33.6	34.2	31.0	33.2
28.7	29.5	28.6	23.6	30.5	40.4	43.1	35.2	40.8	42.0	41.3	44.5	33.9	33.0	37.3	35.3
69.2	68.5	62.6	75.7	73.7	66.3	69.8	64.0	64.9	65.4	68.4	54.8	65.0	64.6	66.5	68.2
24.4	24.4	20.1	26.1	27.8	26.9	28.9	29.0	24.5	32.0	35.1	21.2	26.8	26.3	28.9	27.5
45.4	46.0	41.4	45.3	47.4	49.1	54.2	46.9	46.7	50.3	53.1	40.2	50.1	50.3	49.1	48.9

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題 (10問)	通過率の低かった 問題 (10問)	各内容・領域 の通過率 (%)	設定通過率 (%)
世界の様々な地域	16	1(1)、1(2)X、 1(3)、1(5)、 3(1)ア、3(1)エ、 4(1)	4(4)③、4(6)	56.4	56.9
日本の様々な地域	3	2(2)		55.1	48.3
歴史のとらえ方	2		5(4)、9(1)	28.2	52.5
古代までの日本	8	5(2)	7(2)、7(3)、 7(4)	40.4	55.0
中世の日本	7	9(2)	8(1)、8(2)、 9(1)、9(3)	38.8	55.7

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題 (10問)	通過率の低かった 問題 (10問)	各観点の 通過率 (%)	設定通過率 (%)
社会的な思考・ 判断・表現	20	1(3)、1(5)、 3(1)ア、3(1)エ、 5(2)	4(4)③、4(6)、 5(4)、7(3)、 7(4)、9(3)	47.7	52.8
資料活用の技能	10	1(1)、1(3)、1(5)、 3(1)ア、3(1)エ	9(1)	60.8	52.0
社会的事象につ いての知識・理 解	23	1(1)、1(2)X、 2(2)、4(1)、 5(2)、9(2)	4(4)③、4(6)、 7(2)、7(3)、7(4)、 8(1)、8(2)、9(1)、 9(3)	45.9	57.4

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率 (%)	設定通過率 (%)	主な誤答 (無答を含む) 例 (かっこ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
5 (4)	21.0	50.0	A→D→C (9.0)、D→C→A (7.5)、E→D→C (7.0)
7 (4)	23.4	45.0	ウ→ア→イ (28.5)、イ→ウ→ア (19.5)、ウ→イ→ア (14.5)、 ア→ウ→イ (12.0)
4 (6)	27.4	55.0	無答 (17.0)、ロシア (11.0)、アメリカ (7.5)
9 (3)	27.5	55.0	イ-A (13.0)、ア-A (11.0)、ア-B (11.0)、ウ-B (7.0)、 ア-C (5.5)
7 (2)	29.1	60.0	無答 (40.5)、大宝律令 (6.5)、班田収授法 (2.0)
4 (4)③	29.9	50.0	1000 (55.5)、無答 (12.0)、700 (2.0)
7 (3)	30.4	50.0	無答 (10.5)、平城-藤原-平安 (10.5)、平城-平安- 長岡 (9.5)

- 誤答の原因として、5(4)や7(3)、(4)のように出来事の順や時代の移り変わりを問う問題では、適切な順番を指摘できていなかったことから、社会的事象を関連付けたり、つながりを

もたせたりして、時代や出来事を順に理解することが不十分であったことが考えられる。

- 誤答の原因として、[4](6)や[9](3)、4③では、無答が多かったり、適切な選択肢を指摘できていなかったことから、複数資料の読み取り、その結果を言語化することが不十分であったことが考えられる。
- 誤答の原因として、[7](2)では、無答が多かったことから、基礎的・基本的事項の定着が不十分であったことが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、「歴史のとらえ方」や「中世の日本」の学習内容の定着が挙げられる。

今後の指導においては、時代の区分や移り変わりに気付かせたり、歴史の大きな流れを捉えさせたりするために、歴史学習の導入単元での学習活動の工夫が必要である。具体的には、小学校の歴史学習で学んだ人物や文化財等を活用して、大きな時代の流れを整理し直す学習が考えられる。このような学習を通して、中学校での歴史学習の基礎・基本を強固なものとしたい。

指導例

小学校での学習を活用した歴史学習の導入 ～単元名「歴史のとらえ方」～

【指導の流れ】

1 小学校での学習内容を復習させる。(1時間目)

学習活動① 小学校で学んだ人物のうち20人のカードをグループで分担して、裏面を作成し「歴史カード」を完成させる。(人物ではなく文化財でも応用できる。)



カードの表面に表されている人物について、それに関する説明を簡単にまとめて記入しましょう。

小学校6年生で使用した教科書も、参考になるね。

僕たちのグループでは、いつ頃活躍した人なのか、どのようなことをした人なのかについてまとめて記入しました。



←二つ折りにし、表面にイラストを印刷する。

開いた面→

織田信長
(1534～1582)
安土・桃山時代
安土城
楽市・楽座
長篠の戦い
本能寺の変

比叡山延暦寺や
堺などの自治都市
など、自分に従わ
ない勢力には厳し
い態度で臨んだ。

ポイント 人物・文化財について、まとめるときの視点を示す。

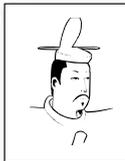
- 人物…生没年、何時代に、どんなことを行い、どんな影響を与えたのか。
- 文化財…いつ、どこに、何のために、作ったのか。その特徴や作られた時代の様子はどうか。

学習活動② 自分たちで作ったカードについて、内容を発表し合う。

2 時代の区分やその移り変わりに気付かせる。(2時間目)

学習活動① それぞれが作ったカードを使い、グループで年表を完成させる。

(年表例)

古 代		中 世			近 世		現代
飛 鳥	奈 良	平 安	鎌 倉	室 町	安土 桃山	江 戸	明 治
 … (省略) …							
天皇や貴族が政治をした時代		武士が政治を始めた時代		武士の政治が安定した時代		近代化が進んだ時代	

さらに、でき上がった年表に文化財の「歴史カード」を作って貼り付けたり、文化財を選んで新しい年表を作ってみよう。また、小学校の時に学習したことを書き込んでみるのもいいね。



ポイント グループごとに次のような活動をさせる。

- ・「時代を表すカード」と「歴史カード」を、それぞれ古い順に並べさせる。
- ・時代区分に合わせて貼らせる。
- ・どんな人物が中心だったかに気付かせたり、時代の長さを調べさせたりする。

学習活動② 他のグループで作った年表を見て回る。



自分たちの年表と比べて、違う点や工夫が見られる点はないかな。

時代を変えた人物や時代を代表する人物を3、4人挙げて友だち同士で意見を出し合ってみるのもいいね。



いろいろな時代や年代の表し方があったことが分かりました。

小学校で学習した人物は、どのぐらい昔の人なのか、分かりました。



ポイント

本単元では、作業的な活動を取り入れ、小学校での既習の学習内容を振り返らせ再確認することにより、我が国の歴史を大観し、時代の大きな流れを把握させるとともに、歴史を学ぶ意欲を高めることが大切である。

「活用」に関する問題についての課題としては、複数の資料から読み取ったことを基にして考えたり、読み取ったことを言語等で表現させるなどの思考力・判断力・表現力の向上が挙げられる。加えて、歴史的分野においては事象間の関連をもった理解が挙げられる。

今後の指導においては、ある地域や時代の特色を捉えさせるため、単元を貫く課題を設定

し、その課題を意識させながら、異なる視点から課題解決に迫る学習が考えられる。1時間ごとの授業のまとめを基に単元を貫く課題に対するまとめをさせることによって、地域や時代の特色を明らかにし、地域や時代を大きく捉えさせることが大切である。また、それらの授業の中で、複数の資料から併せて読み取ったことを言語化させることで、思考力・判断力・表現力等の向上を図りたい。

指導例

「見通しと振り返り」と「複数資料の読み取り」に重点を置いた指導 ～単元名「ヨーロッパ州」～

【指導の流れ】

1 学習問題を設定し、単元の見通しをもたせる。(1時間目)

(1) ヨーロッパ州に興味・関心をもたせ、大観させる。



フラッシュ教材を使って世界遺産・国旗クイズを行います。スクリーンに映る写真、国旗を見て国名を発表してください。

イギリス、フランス、ドイツ・・・の国旗です。コロセウムはイタリアにあります。全てヨーロッパのものです。

これからヨーロッパ州について勉強していきます。では、まずヨーロッパ州の自然について、大まかに調べてみましょう。



(2) 複数の資料を提示し、単元を貫く学習問題を作らせる。

(必要な資料の例) 1 ヨーロッパで起きた主な戦争【年表】 2 ユーロ紙幣【実物】
3 国境を自由に通過している様子【写真資料と文章資料】

学習活動

1～3を読み取って、単元を貫く学習問題を考え、ワークシートに記入する。



1～3を併せて読み取って「かつては○○なのに、現在は、□□なのはなぜか。」という形式で学習問題を作ってみましょう。

僕は、このような学習問題を作ってみました。「かつては、ヨーロッパでの戦争が多くあったのに、現在は、共通の通貨が使われ、自由に国境を行き来できるのはなぜか。」



(3) 2時間目から学習する調査テーマを示して、単元の見通しをもたせる。

調査テーマ① ヨーロッパ州の民族・文化・宗教について

調査テーマ② ヨーロッパ州の農業・工業・貿易について

調査テーマ③ EUの成立について

最後は、学習問題を解決する形で、まとめを書きます。毎時間、学習問題を意識しましょう。



ポイント

- ・画像・映像資料はICTを活用し、大きく見せる。
- ・学習問題設定のための資料は、生徒の疑問や新たな発見などを促す要素を含ませる。
- ・学習意欲を持続させるために、生徒の考えを生かしながら、探究が可能な学習問題を作らせる。

2 単元を貫く学習問題を意識させながら、調査テーマ①②③について、複数の資料を併せて読み取らせる学習活動を中心に授業を展開する。(2、3、4時間目)

学習活動① 調査テーマ①に関わる資料を読み取って、ワークシートに記述する。

(必要な資料の例)

- 1 各言語の「おはよう」を表す言葉 2 ヨーロッパの宗教分布【主題図】
3 ヨーロッパの民族分布【主題図】 4 キリスト教文化【文章資料】



多様性がありながら文化や宗教の上で共通点があることに気付いたかな。

学習活動② 調査テーマ②に関わる資料を読み取って、ワークシートに記述する。

- (必要な資料の例) 1 世界の自動車生産と輸出【統計表】 2 世界の小麦生産と輸出【統計表】
3 ドイツ・フランス・EU全体の貿易相手先【統計表・グラフ】



かつては戦争をしていたヨーロッパNo.1の工業国ドイツとヨーロッパNo.1の農業国フランスは、現在、貿易で密接に結び付いているんですね。



ヨーロッパの国々は経済の面で、お互いに助け合っているんですね。

学習活動③ 調査テーマ③に関わる資料を読み取って、ワークシートに記述する。

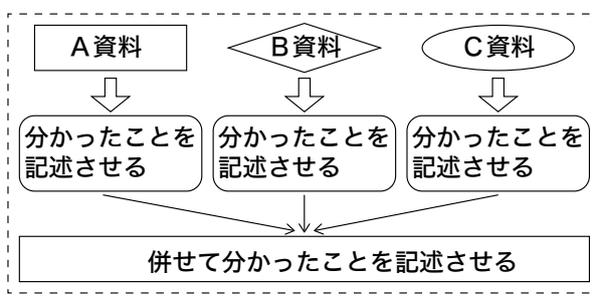
- (必要な資料の例) 1 EUの歩み【年表】 2 EU加盟国の拡大【主題図】
3 EU・アメリカ・日本の国力比較【統計グラフ】



ヨーロッパ諸国は面積や人口規模が小さいのでアメリカなどの大国に経済の面で負けないため、そして二度と戦争をしないためにまとまろうとしていったんですね。

ポイント

- ・読み取らせる際は、「何を読み取らせたのか」という視点を明確に示すことが大切である。
- ・資料を併せて読み取らせるトレーニングとして、図のようなワークシートを他の単元でも作成することが効果的である。



3 単元の学習を振り返らせ、単元を貫く学習問題のまとめを書かせる。(5時間目)

学習活動 調査テーマ①～③で分かったことを取り入れて、単元を貫く学習問題を解決する形式でまとめを短文でワークシートに書く。



かつては、ヨーロッパを舞台にした戦争が多くあったのに、現在は、共通の通貨が使われ、自由に国境を通過できるのは……からである。また、ヨーロッパ州を学んで……

ポイント

学習問題に対するまとめだけでなく、単元全体を通して、気付いたことや考えたことを生徒自身の言葉で書かせる。

また、1単位時間ごとの「見通し」や「振り返り」が重要なことは言うまでもないが、社会的事象が相互につながりをもって、生徒が理解できるよう単元全体を通じた「見通し」と「振

り返り」を大切にしたい。

特に「振り返り」については、生徒がその時代の特色をそれぞれの言葉で文章によってまとめる学習活動を通すことが、実感をもった理解につながるものと考えられる。

指導例

単元の「見通しと振り返り」により、時代を大きく捉えさせる指導 ～大単元名「古代までの日本」～

【指導の流れ】

1 学習問題を設定し、単元の見通しをもたせる。(1時間目)

(1) 単元の導入で、学習する時代を概観させる。

学習活動① 年表や小学校の学習で出てきた写真等から、原始から古代までの日本の歴史を概観する。

その後、2枚の地図(2世紀、11世紀)から日本の変化を読み取る。



2枚の地図を比べて、気付いたことはないかな。



日本は、小国の分立した状態から統一された。

地図で点でしかなかった国が、かなり大きくなったと思います。なぜ、こんなに日本が発展したのかな？



(2) 単元の学習問題を設定し、今後の学習を見通させる。

学習活動② 生徒自身の気づきを基に、学習問題を設定する。

古代の日本が国家として発展できたのはなぜか。

学習活動③ 単元の学習問題に対して予想を書く。



自分の予想をノートに書いてみましょう。



日本人の努力もあると思うけど、中国を手本にしたんじゃないかな。



日本に強い王が現れ、改革したからじゃないかな。



海外とのさまざまな交流、国内での人々の動きの2点が鍵になりそうですね。

ポイント <見通し>

予想を整理し、今後の学習の視点を明確にする。

2 単元の学習問題について、まとめさせる。(単元最終時間)

学習活動① ICT機器等を活用して、単元の学習内容を確認する。



このような流れで日本は発展してきましたね。これらのことから、単元の学習問題について、国内での人々の動きと海外とのさまざまな交流という2つの視点で考えてみましょう。

学習活動② 単元の学習問題について、個人で考えたものを基にして、ペアやグループで話し合い、発表する。



遣隋使や遣唐使で分かるように、日本が中国から律令制などの制度を学んでいた。中国の影響が大きかったと思う。

聖武天皇のように、仏教の力で国を守ろうとしたことも影響していると思います。中国から入ってきた文化によって日本人の生活も変わってきました。



学習活動③ 単元の学習問題について、学習活動②を踏まえて、自分の言葉でまとめる。

(まとめの例)

古代の日本が国家として発展できたのは、中国などの影響を受けて国が作られ、日本の人々が政治の制度などを中国から積極的に取り入れて、国の仕組みを整えたからである。また、仏教も我が国の政治や文化、人々の暮らしにも大きな影響を与えた。

ポイント <振り返り>

- ・学習問題や予想に対して、学習内容をまとめる。
- ・学習問題に対するまとめだけでなく、その時代を大観し表現させる活動も必要である。

キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、地理的分野の「世界の様々な地域」、「日本の様々な地域」においては、おおむね良好である。しかし、歴史的分野の「歴史のとらえ方」、「古代までの日本」、「中世の日本」においては、基礎的・基本的な社会的事象そのものの理解や、事象間の関連の定着が十分とは言えない。

今後は、歴史的分野の指導においては、小学校での学習内容を基にして、時代の移り変わりを捉えさせるように指導したい。また、このような学習の中で、基礎的・基本的な社会的事象の特徴を指摘させ、時代の移り変わりの中にしっかりと位置付けていくことが必要である。

評価の観点からみた状況は、「資料活用の技能」においては、おおむね良好である。しかし、「社会的事象についての知識・理解」及び「社会的な思考・判断・表現」については十分とは言えない。

今後は、複数の資料から読み取れることを基にして考えたり、既習事項を活用して資料から社会的事象を指摘する活動を取り入れた授業を行うようにしたい。

「活用」に関する問題についての状況は、十分とは言えない。

今後は、特に歴史的分野において、社会的事象間の関連や流れを捉えさせるために、社会的事象間の関連等を言語や構造図等で表現させたり、年表等にまとめたりする学習活動を授業の中に適切に位置付けたい。

また、地理的分野については、一つずつの資料から読み取れることを生徒自身の言葉で表現した上で、既習事項やそれぞれの資料を比較・分類したり、変化を捉えたり、関連付けたりする活動を通して、その地域の特徴を明らかにする学習活動を授業の中に適切に位置付けたい。